

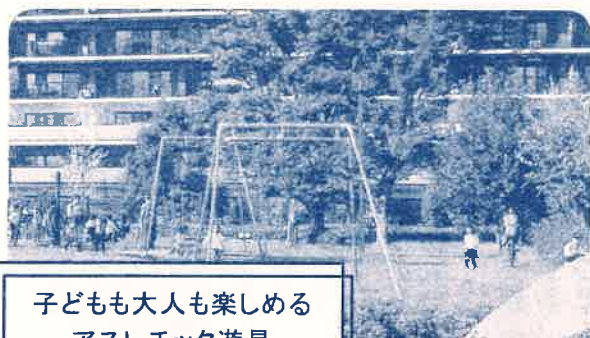
三輪車

2022年度 秋冬号 (通算70号)



『ファミリーの遊び場』～松原団地記念公園～ (草加市松原3-1)

複合開発で生まれ変わる街！松原団地エリアの防災機能も備えた公園です



子どもも大人も楽しめる
アスレチック遊具

しだれ桜の周りの広～い芝生を走り回る親子や、
ゆっくり散歩を楽しむ人たち
公園には世代を超えてたくさんの笑い声や歓声が
いつもあふれています。

※駐車場はありません



広くてきれいな男女別トイレ
と多目的トイレ



公園のシンボル しだれ桜



モザイクタイルのオブジェの
前には休憩スペース

しだれ桜を取り囲むように2万㎡
の広大な敷地のほとんどを青々と
した芝生が広がっています



亀や鳥が集まる水辺

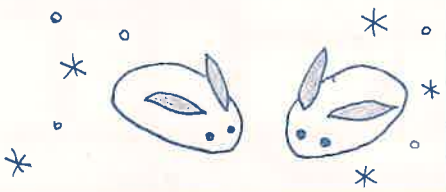


カモやオオバン、運が良ければ
大きなアオサギも見れるかも！

獨協大学前駅

特集

- ❀ ファミリーの遊び場紹介
- ❀ 令和4年度会員交流会「じゃがいもほり」報告
- ❀ 厚生労働省指定講習会報告



令和4年度 会員交流会「じゃがいもほり」

日時：令和4年6月11日(土)10:00～12:00 / 場所：三浦農園



絶好のイモ掘り日和でした。私は畑担当だったのですが、たくさんの方の笑顔の間近でみるのができました。小さなシャベルを持って土を掘る可愛い仕事のお子さんたち。それを見守るご家族の温かい眼差し。土の中で動いている虫に興味を示し、一生懸命捕まえようとしているお子さん。晩ご飯のメニューを相談しているご家族。「これ楽しい」と笑顔のお父さん。協力して行う共同作業が家族の絆を深めた一日になったのではないのでしょうか。(S.L 白川)

令和4年度 厚生労働省指定講習会 報告

第1回

令和4年9月27日(火)9:30～13:30 / 場所：草加市中央公民館

「子どもの遊び」 講師：アドバイザー



「コロナ禍を過ごした子どもたちの様子や遊び」について、お子さんの預かりや送迎の様子を提供会員さんに伺いました。家の中の生活が多く運動不足や睡眠のサイクルに変化が出ているようです。サポート内容では、出産前後のサポートや在宅勤務中の預かりが多くなっています。提供さんとの交流は親も子もホッとすると改めて感じました。その後は、新聞棒の健康体操やクイズで脳を活性化し、かぎ針編みでアクリルたわし作り。提供会員さん同士楽しいひと時となりました。(AD高橋)

第2回

令和4年10月26日(水)9:30～13:30 / 場所：草加市中央公民館

「事業を円滑に進めるために」

講師：アドバイザー



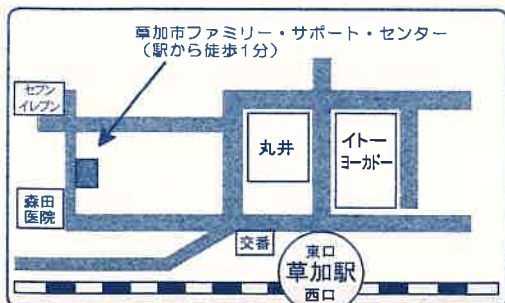
今回は病児・病後児サポート「ぼかぼか」について、サポートを受けた時の大切なポイント、注意が必要な点を確認しました。(AD井崎)

「子どもの栄養と食生活」

講師：さくらの実保育園 栄養士 田原美江
さくらんぼ保育園 栄養士 原直子
噛むことが健康に繋がる。特に、成長期の子どものとってどのよう噛めば良いのか？をかみ砕いてのお話でした。後半は調理実習。具材や大きさを工夫し噛むメニューを3品作りました。皆さんが噛む事を意識して楽しく美味しく試食タイムとなりました。

こちらセンターです☆

先日、田舎で一人暮らしをする母から宅急便が届いた。びっくりと大きくつつやの栗が小さな箱いっぱいに入っていた。お礼のメールを送ると「今年は採れすぎちゃって！」と返信が来た。てっきり近所からのおすそ分けと思っていたが、はて？こんな立派な実をつける栗の木が実家のどこにあっただろうか。思い返してみると田舎で暮らしていたころは、庭には夏みかんや梅、柿の木、みょうが、しそ、ふき、椎茸。裏山には竹の子、ゆず、びわ、イチジク、木の芽があり、食べたい時や料理に使う時に採ってきて食べていた。なんて贅沢な暮らしだったのだろうと、田舎の暮らしと親のありがたみを感じたふるさとからの贈り物だった。(高橋)



◆お問合せ

草加市ファミリー・サポート・センター

〒340-0015 草加市高砂2丁目11番17号

Tel: 048-920-1100 Fax: 048-920-1101

月曜日～土曜日 8:30～19:00

E-Mail: sakuranbo@net.email.ne.jp

ホームページ: <https://familysupport.soka-sakuranbo.org/>

◆発行人:

NPO法人さくらんぼ
草加市ファミリー・サポート・センター
所長 檜森 淑子